

基本方針 2 21世紀を生き抜く優しくたくましい人づくり

1 21世紀を生き抜く力を身につける学びの創造

[現状と課題]

「生きる力」のひとつである確かな学力を身につけるため、基礎・基本をもとに課題を見つけ、考え、判断し、解決する能力を育成することが必要です。そのために、情報端末の適切な利用を身につけるとともに、ICT機器を活用した授業や体験活動の導入、ALTを配置し小学校1年生から英語に親しむことや、先端大との連携で高度な内容に触れることなど、興味・関心を高める授業を実践します。

[具体的な事業と目標]

検討事項 2

具体的な事業／指標名（H27実績値）		各年度の取組／設定目標				担当課
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
ICT機器活用モデル事業	タブレット端末を小中学校と幼稚園、保育所にモデル事業として導入し、授業等で活用することで授業及び保育の質を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・(小中)2校でタブレット端末、電子黒板等を使用したグループ学習等の授業研究と研究発表の実施 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・(小中)方針の具体化 	→	教育指導課
			<ul style="list-style-type: none"> ・(小中)2年間の調査研究結果をもとに、方針決定 ・教育指導課の指導体制の充実 			
スマートフォン適正利用推進事業	スマートフォンの利用にあたっての注意点や問題点等を周知・指導し、児童・生徒のスマートフォンの適正な利用を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの適正な利用に関するワークショップの開催 ・ワークショップ結果報告の学校での活用 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・(幼保)2園でタブレット端末を使用した保育や職員研修をモデル実施 ・(幼保)モデル実施の結果検証 	→	こども課
			<ul style="list-style-type: none"> ・学校での実践 			
グローバル時代に対応した英語教育の推進	ALTを小学校1・2年生にも配置し、小学校すべての学年で英語活動に取り組むことにより、英語の基礎的な力を身につけるとともに、コミュニケーション能力の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間小学校1・2年生で10時間程度、小学校3・4年生で12時間、小学校5・6年生で35時間英語活動を実施(ALT、わくわくイングリッシュサポーターを配置) 	→	<ul style="list-style-type: none"> ・年間小学校1・2年生で10時間程度、小学校3・4年生で35時間、小学校5・6年生で35時間英語活動を実施(ALT、わくわくイングリッシュサポーターを配置) 	→	教育指導課
		<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における英語活動、英語教育の学年目標を策定し、義務教育9年間の系統的な英語教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語活動、英語教育の現況を調査し、学年目標の策定 ・ALTの配置日数見込延べ960日 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標をもとに各校で実践 ・ALTの配置増など具体化 	→	→

検討事項 1